

第29回「意識科学研究会」開催ご案内

開催日時：2010年10月30日（土）13:15～16:30

司会 米田 晃

会場：「港区商工会館」第3・4会議室（下記ご案内参照）

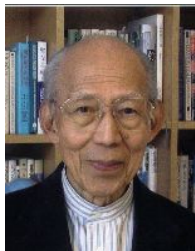
（人間科学研究所）

共通テーマ：音と人体、意識との深い関わり

発表1（60分）

発表者：中村 泰治 昭和大学名誉教授，ISLIS 特別評議員

テーマ：「細胞に与える音と意識の力」



内容：人体は60兆個の細胞で構成されている。それらは皆いのちある生命体である。その全てが健康であり、お互い緊密に連携、協調しあい全体が調和されている事が、人体の健康に必要である。細胞は外界に到来する栄養物、情報伝達物質、薬物、汚物等の物や、pH、等の環境変化に対し、細胞膜が適切に対応し内部がそれに答え処理し生命を維持している。音響は細胞膜を超えて直接内部に入り大きな影響を与える。可聴域の良音、騒音、それ以外の音域の音波、電磁波の影響は想像以上に大きい。さらに意識は重大な影響力がある事を考えたい

発表者プロフィール：

1948年東京工業大学理工学部化学科卒業、引き続き生物化学教室にて14年、さらに昭和大学薬学部生物化学教室にて26年間、生物化学の研究と教育に従事。一方、17歳の時に中村天風の門をくぐり、6年間天風流ヨガを修行、心が体に与える力の絶大なることを体得す。定年後は心と体の関係を科学的に解明することに携わってきたが、特に最近の高い祈り心、高質の音響、芸術の重要性を強く感じている。本人は日本画、パステル画等を描く絵描きでもある。昔はスキー1級、現在山登りもする85歳。

発表2（60分）

発表者：喜田圭一郎 サウンドヒーリング協会理事長、(株)ジョイファンデーション代表取締役

テーマ：「音に秘められた可能性」



内容：音は情報を持つ振動エネルギーであり、音に含まれた情報は人の心に共鳴し、その振動は体に共鳴する。音は空気より水や骨の中では伝わりやすく、70%の水で構築された人体に対する音の影響は極めて大きい。糸川英夫博士の発案から開発され、喜田らが考案した体感音響は良質の音の振動が全身の細胞、体液に共鳴し、自律神経の通る脊椎に効率よく響き、心身の働きを活性化する。1999年より米国の病院で補完代替医療の道具として実績を積み重ねている「音を与える人の心と体への影響」を探り、その実技メソッドも紹介する。

発表者プロフィール：

心がやすらぎ体に活力を得る CD「癒しの島」ほかプロデュース多数。癒し系音楽の選曲家。心の平和を創造する小型体感音響を開発し、米国の名医ミッチェル・ゲイナー博士と提携しサウンドヒーリング協会を設立。体に響く音の共鳴（レゾナンス）効果を実証中。サウンドヒーリング資格認定研修会、レゾナンスワークショップ定期開催中。日本航空「ソフト&スムーズ」番組構成担当、恵比寿ガーデンプレイス・アンビエント音楽制作プロデュース、NHKきょうの健康「音の癒し」に出演。

質疑応答・討論（60分）

会場：東京産業貿易会館、6階「港区商工会館」第3・4会議室

東京都港区海岸1-7-8 TEL 03-3433-0862

JR山手線浜松町駅北口より徒歩5分

北口（新橋寄り）より海側へ高速道路の下交差点を越えて真直ぐ進んだ右側

参加費：サトルエネルギー学会会員 2000 円、一般参加者 3000 円

（参加費は当日会場受付でお支払い下さい）

☆ 申し込み先：「意識科学研究会」事務局 前田 TEL/ FAX0463-76-4086

メール：maeda_yutaka@nifty.ne.jp

☆ お問合せ・連絡先 人間科学研究所 TEL/FAX 0465-42-2704

〒250-0125 小田原市千代 779-8 米田 晃

